

# 狼 オオカミの尿で撃退

## 新潟県村上市が試験



「ウルフジー」を設置して狼害対策を行う池田さん

新潟県村上市は、ニホンザルを追い払うため、輸入したオオカミの尿を使った動物忌避剤「ウルフジー」を入れた容器を設置して効果を調べている。同市菅沼の池田勇さん(77)の畠では、8月6日に市の指導で設置した。「設置翌日の7日に被害があったが、その後、狼は姿をみせていない」と話している。オオカミのにおいに反応した効果なのかどうか不明だが、10月8日まで様子を見ることにしていく。

オオカミの尿は全国の狼害に悩む地域で効果の有無を確かめる試験が行われている。村上市でも旧市町村5地区10カ所に2カ月限定で設置した。

池田さんの畠はらばんど。妻の順子さん(74)が、春先からいろんな野菜を丹精してきた。周囲は耕作放棄地が増え、草やぶで見通しがきかなくなってきた。順子さんは、「杉林の中から狼がこちらの様子をうかがっているのが分かる。数年前まで狼の姿はなかったのに」と、ここ数年で急激

に進んだ農地の荒廃が、狼の出没と関係していると考えている。狼は野菜が収穫時期を迎えることが分かる。サツマイモ、トウモロコシ、ナス、トマトなど、順子さんが収穫を始めようかと思った矢先に被害に遭っている。

網を張ったが効果はなかった。そこで地元の区長を通じて市に連絡。早く市の狼害バトロールが駆けつけ、「ウルフジー」の設置になった。順子さんは設置後、毎日速、市の狼害バトロールが駆けつけ、「ウルフジー」の設置になった。順子さんは設置後、毎日

「狼害対策実証試験業務日誌」に出没状況を記入しているが、現在のところは出没はみられない。仕様書によれば高さ30cm、開口部3×6cmおきに設置するようになっている。尿が蒸発したら繰り返していく。オオカ

## 容器に入れ農地へ設置 繩張り習性を活用

ミのマーキング（繩張り）をうまく利用した方法で各地で実証試験に取り組んでいる。